

農研速報

令和4年 11月30日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所
 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
 TEL029-239-7212 FAX 029-239-7306

生育状況(10月14日現在、水戸市)

県名	生育ステージ		生育の状況	問題点	備考
	本年	平年対比			
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ 10月14日収穫	やや少ない	<p>気象概況:9月27日～10月14日(直近5か年の平年値との比較。水戸地方気象台観測値) 上記期間の平均気温は18.6℃で、平年(19.8℃)に比べて低かった。降水量は64mmで、平年(118mm)に比べてかなり少なかった。日照時間は84時間で、平年並(82時間)だった。</p> <p>掘り取りは、平年と同じ挿苗後149日に行った。今年の収量および品質は、平年と比較して以下の通りだった(表1、2)。</p> <p>「ベニアズマ」: つる重は平年並だった。総いも重は平年並で、上いも重はやや軽かった。1株あたり塊根数は平年並で、塊根1個重はかなり重かった。サイズ別収量は、S以下がやや少なく、M+Lがかなり少なく、2L以上がかなり多かった。 デンプン含量は平年より高かった。塊根品質は、曲がりの発生が最も多く、次いでくびれの発生が多かった。A品率は平年を上回った。</p> <p>「べにはるか」: つる重はやや重かった。総いも重、上いも重はやや重かった。1株当たり塊根数は多く、塊根1個重は重かった。サイズ別収量は、S以下がやや少なく、M+Lと2L以上がやや多かった。 デンプン含量は平年より高かった。塊根品質は曲がりの発生率が最も高く、次いで尻こけの発生率が高かったものの、それぞれの発生率は平年を下回った。 このため、A品率は平年を上回った。</p>	特になし	
	べにはるか 10月14日収穫	やや多い			

表1 生育調査(挿苗後149日、10月14日調査)

品種名	つる重			総いも重			上いも重			1株当たり塊根数(上いも)			塊根1個重(上いも)			サイズ別収量					
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	S以下 (kg/a)	前年比 (%)	M+L (kg/a)	平年比 (%)	2L以上 (kg/a)	平年比 (%)
ベニアズマ	413	129 (320)	108 (384)	390	98 (399)	100 (390)	386	98 (395)	98 (393)	3.8	89 (4.3)	100 (3.8)	355	109 (326)	118 (300)	54	80 (67)	153	76 (201)	184	141 (131)
べにはるか	394	95 (413)	86 (458)	376	101 (372)	109 (347)	372	103 (362)	110 (337)	4.9	97 (5.1)	119 (4.1)	267	105 (254)	111 (241)	74	83 (90)	225	113 (200)	77	136 (57)

()内は前年または平年の数値。平年値は平成29～令和3年(5か年)のデータの平均値。
 塊根は直径3mm以上のもの、上いも重は一個50g以上のものとした。
 挿苗日:5月18日、黒マルチ栽培、栽植密度:286株/a(畦間100cm×株間35cm)、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0
 サイズ別収量は、塊根1個重により S以下:200g未満、M+L:200g以上500g未満、2L以上:500g以上 で区分した時の収量。

表2 デンプン含量、品質区分および障害いもの発生率

品種名	デンプン含量	品質区分				障害いもの発生率					
	本年 (%)	A品率 (%)	丸品率 (%)	B品率 (%)	C品率 (%)	裂開 (%)	皮脈 (%)	条溝 (%)	曲がり (%)	くびれ (%)	尻こけ (%)
ベニアズマ	25.7	44.6	1.4	47.5	6.5	1.4	2.6	5.4	29.0	13.1	1.3
平年値(%)	23.9	39.0	4.1	45.2	11.3	0.3	0.7	2.0	39.7	11.0	4.6
べにはるか	24.5	70.4	4.1	24.4	1.1	1.1	0.0	0.0	8.2	1.0	2.0
平年値(%)	23.0	65.8	1.3	27.6	4.2	0.2	0.7	0.3	23.2	5.2	1.0

品質区分・障害いもの判定は茨城県青果物標準出荷規格による。

農研所内圃場における生育状況 (10月14日撮影)



ベニアズマ



ベにはるか